

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 4/8 第2号 文責 上田
学校教育目標 「探究心を持って未来を創造し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」

令和3年度 第73回入学式

4月7日(水)に、ご来賓や保護者の皆様にご臨席いただき、第73回入学式を挙行了しました。173名の新入生が、新しい制服姿で校門をくぐりました。新入生は、引き締まった表情で希望に満ちた姿を見せてくれました。式は、厳粛な雰囲気の中にも温かさを感じるものでした。



式辞の一部を紹介します。

本校の教育目標は「探究心を持って未来を創造し、心豊かにたくましく生き抜く生徒の育成」です。その目標に向け、双ヶ丘の生徒には、次のような中学生になってほしいと考えています。

- ・未来を創造し、自らの力で、自分の人生を切り拓こうとする生徒「**自主自律**」、
- ・夢の実現に向かって、探究心を持って、挑戦する生徒「**探究**」、
- ・仲間とのつながりを喜びとし、思いやりの心を持つ生徒「**友愛**」、
- ・自分の所属する集団での役割と責任を自覚し、適切な考動をとる生徒「**貢献**」です。

このような中学生を目指すために、皆さんに心がけてほしいことがあります。それは「自分で自分を教育する」ということです。プロ野球で活躍されたイチロー選手は「厳しく教えることが難しくなっている中、厳しさは自分で作り、しっかりとした課題や目標をもって、自分自身をきたえなければならない」と言っておられます。中学校入学を機に、自分でしっかり考えて行動できるか、自分の内面の力が試されます。中学生としての自覚を持つことが重要になってきます。

そこで、私は次の3つのことができるようになってほしいと考えています。

まず、一つ目は「自分で考える」ということです。

自分で考えるとは、自分の力で問題を解決するために考えたり、誰に相談するとよいかを考えたりして、自分にとって最も良い方法を考えるということです。

二つ目は「他の人と対話する」ということです。

他者と対話するということは、お互いが相手を尊重して話をすることです。相手を尊重していれば、決して相手を傷つけることはありません。そんな話し方や聞き方ができると課題や問題が解決しやすくなるはずです。

三つ目は、「我慢し、あきらめずに続ける」ということです。

これからは思うようにならないことの方が多いかもしれません。楽なことはほとんどないと思います。でも、あきらめずに自分で考え、周りの人と話し合い、どうすることがよい方法かを考えながら取組を続けることで、必ず道が開けてきます。

「自分で考える」「他の人と対話する」「我慢し、あきらめずに続ける」ということを意識し、心も体も大きく成長し、自分をよりよく成長させるチャンスが今日から始まります。内面が高まる心の持ち方を自分で考え、より良い自己実現に向け、中学校生活を送ってください。

就学援助制度について

京都市では、お子達が市立小・中学校へ通学するにあたり、経済的な理由により、お困りの保護者に対して、学用品費や給食費などを援助する就学援助制度を設けています。

申し込みの手続きやご相談・ご質問がある方は、学校までお申し出ください。